

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年4月25日（金）午前10時35分
- 2 閉会日時 令和7年4月25日（金）午前11時28分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
6 番 安藤 利博君 7 番 永徳 省二君 8 番 佐藤 武君
10 番 光成 良充君 12 番 大口 浩志君 14 番 原田 素代君
15 番 金谷 文則君
18 番 佐藤 武文議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 前田 正之君 教 育 長 坪井 秀樹君
総合政策部長 幸坂 諭志君 総 務 部 長 戸川 邦彦君
教 育 次 長 西崎 雅彦君 総 務 課 長 花谷 晋一君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 原田 光治君 副 参 事 青木 智彦君
- 8 協議事項 1) 令和7年5月行事予定について
2) 令和7年6月定例会の会期日程（案）について
3) その他

午前10時35分 開会

○委員長（原田素代君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

初めに、佐藤議長より挨拶をお願いいたします。

○議長（佐藤武文君） 大変お疲れのところ、大変お世話になります。

議会運営委員会は、我々議会の運営に関して非常に基幹となる大切な委員会でございますので、今後とも議会運営委員会を中心に議会を運営していきたいというふうに思っておりますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございます。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、令和7年5月の行事予定についてです。

議会事務局及び執行部からの説明を求めます。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） それでは、令和7年5月議会行事予定（案）を御覧ください。

9日金曜日10時30分から赤磐市老人クラブ連合会総会があります。

12日月曜日13時30分から岡山県市町村総合事務組合議会議員選挙があります。

13日火曜日9時から広報広聴委員会広報部会です。

19日月曜日18時から地元選出国會議員と岡山県市議会議長会との意見交換会があります。

20日火曜日13時から全国市議会議長会定期総会、18時30分から岡山シーガルズ報告会があります。

21日水曜日10時から総務常任委員会です。

22日木曜日13時30分から和気老人ホーム組合議会臨時会、14時30分から和気・赤磐環境衛生施設組合議会臨時会があります。

24日土曜日10時からNPO法人わかたけ総会があります。

26日月曜日10時から厚生文教常任委員会です。

27日火曜日10時から産業建設常任委員会、15時から広報広聴委員会広報部会です。

29日木曜日13時30分から議会運営委員会、14時30分から議会全員協議会です。なお、議会全員協議会終了後に新人議員研修会を予定しています。

30日金曜日13時30分から赤磐市シルバー人材センター定時総会があります。

以上です。

○委員長（原田素代君） 続いてお願いします。

幸坂部長。

○総合政策部長（幸坂諭志君） 執行部の5月の主な行事予定について御説明いたします。

市行事予定（案）を御覧ください。

1 日木曜日、エコプラザあかいわにおいて西山殖林組合総会が行われます。市長が出席いたします。午後には、赤坂健康管理センターにおいて赤坂地域区長会を開催します。市長と教育長の出席です。

2 日金曜日、吉井会館において吉井地域区長会を開催します。市長と教育長の出席です。

5 日月曜日、熊山英国庭園においてスプリングフェスタを開催します。市長が出席いたします。

7 日水曜日、和気町役場において和気・赤磐環境衛生施設組合正副管理者会議、また和気老人ホーム組合正副管理者会議が行われます。市長が出席いたします。

14 日水曜日、岡山プラザホテルにおいて岡山県防犯協会総会が行われます。市長が出席いたします。

20 日火曜日、くまやまふれあいセンターにおいて赤磐市青少年問題協議会を開催します。また、午後には永瀬清子の里づくり推進委員会総会を開催します。市長と教育長の出席です。その後、本庁舎において赤磐市自衛官募集相談員委嘱式を開催します。市長が出席いたします。

23 日金曜日、赤坂健康管理センターにおいて赤磐市人権教育推進委員会を開催します。市長と教育長の出席です。

24 日土曜日、吉井 B & G 海洋センターにおいて吉井スポレククラブ総会が行われます。市長が出席いたします。

26 日月曜日、アークホテル岡山において備前県民局管内事業説明会が行われます。市長が出席いたします。

27 日火曜日、中央図書館において赤磐市自治連合会全体会議が行われます。市長と教育長の出席です。

29 日木曜日、本庁舎において赤磐市と株式会社イズミとの包括連携に関する協定締結式を開催します。市長が出席いたします。

30 日金曜日、本庁舎において定例記者懇談会を開催します。市長が出席いたします。

5 月の主な行事予定は以上でございます。

○委員長（原田素代君） 説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑がありましたらお願いします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 29 日の 9 時から開催予定の株式会社イズミとの包括連携に関する協定締結式は、具体的にどういふことを協定するのか、説明をお願いしたいと思います。

○委員長（原田素代君） 幸坂部長。

○総合政策部長（幸坂諭志君） こちらにつきましては現在イズミと調整中でございますが、

その内容については何点かございまして、例えば地産地消の農産物の販売であったり、観光情報の発信であったり、地域防災の協力、地域の安全・安心、こういったことについて協定をするということで準備を進めております。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 今具体的に説明があったんですが、所管の委員会には一切説明がない状況なんです。

○総合政策部長（幸坂諭志君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 幸坂部長。

○総合政策部長（幸坂諭志君） 委員会への御説明につきましては、5月の常任委員会において説明をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） どうでしょうか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 5月の委員会の説明のほうが後回しということですかね。29日だから、その前に委員会がありますね。この中で説明をするということですか。

○総合政策部長（幸坂諭志君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 幸坂部長。

○総合政策部長（幸坂諭志君） はい、そのとおりでございます。

○委員長（原田素代君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） 結構です。

○委員長（原田素代君） 他にございませんか。

私のほうからも質問したいので、副委員長、お願いしていいですか。

○副委員長（大口浩志君） そしたら、ここで代わります。

〔委員長交代〕

原田委員長。

○委員長（原田素代君） 今の協定のことなんですけど、まず1点目。過去に市が様々な外部団体との協定をするとき、議会の議長が同席するというのが慣例だったと思うんですが、今回ここで議長の出席がないので、ぜひ議長と執行部双方が参加される、立ち会う協定にしたいだけないかなっていうのが1点。

それから、担当委員会だけの説明ではなくて、全員協議会のほうがいいのかもかもしれませんが、議会運営委員会のほうにもきちんと、どういう協定を結ぶのかということの説明を事前にしていきたい。

それからもう一点、道路の問題。これ皆さん懸念してるんですけど、あそこが集中して様々な施設ができますので、その道路事情の問題について市がどう考えているのか、それを協定にどう盛り込むのか、その辺について説明をお願いします。

○副委員長（大口浩志君） 3点、答弁できますか。

○総務部長（戸川邦彦君） 副委員長。

○副委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） ありがとうございます。御意見いただいたので、調整をさせていただきたいと思います。

申し訳ございません。議会運営委員会のほうへ事前に諮れなかったというところでは、御報告はこの場で今、日程としては説明をさせていただきましたが、こういった案件ですので、市からの報告事項としてきちんと報告させていただくようにさせていただけたらと思います。

以上です。

○委員長（原田素代君） 副委員長。

○副委員長（大口浩志君） 原田委員長。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

ただ、日程の問題がありますので、いつのどの段階で議員全体に説明をしていただけるのか、日程調整をしていただきたいんですけど、今どうでしょう。

○委員（佐藤 武君） 副委員長、ちょっとその前に。

○副委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 原田委員長ですけど、議会運営委員会への説明、それから協定締結に議長が同席という御提案があったんですが、まず基本的には所管の委員会で先に説明をしないと、その後の流れとなると日程調整も難しいし、今までは所管の常任委員会で説明をして、それを各委員が傍聴に行くというスタイルだったと思うんで、そういう範囲を広げ過ぎたら困るんじゃないかなと私は思いますので、議会運営委員会での説明というのは各常任委員会でとどめるべきじゃないかなと思います。

それから、協定締結、議長同席というのは、私が議長のときは出席したのがたった1回きりでしたので、過去の同席する例というのは実在しないんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺は全て同席ということはいかがなもんかなというふうには思います。

○委員長（原田素代君） 私に対する質問ですね、今のは。

○委員（佐藤 武君） 委員として意見を述べさせていただいたんで、委員長がそういう形で執行部のほうに求めたんで、いやこういう考えがありますよという意見を申し上げただけです。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○副委員長（大口浩志君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私が議長るときには同席させていただいて、そばで立会いをさせていただいたということになっておりますので、佐藤議長のときは1回ということでしたので、それぞれ差があるのかもしれませんが皆さんで協議されたらいいかと思いますが、本来なら赤磐市全体が一つになってということであれば、議長も含めて、例えば所管の委員長も前も立会いをしたという私も経験がありますので、そういった形で全部が一丸となって赤磐市がワンチームというスローガンを市長も掲げておられるんで、そういうふうに配慮されたらいいのかなというふうな、私としては意見を持っております。

以上でございます。

○副委員長（大口浩志君） 暫時休憩します。

午前10時49分 休憩

午前10時52分 再開

○副委員長（大口浩志君） 再開します。

原田委員長。

○委員長（原田素代君） 先ほどの質疑ですが、いろいろな御意見がありました。ただ、最終的には市長の思いとしても、できるだけ議会と共有しながら進めたいとおっしゃっていたので、今後は、願わくは議長と市長が事前に予定のすり合わせをしながら調整をしていただくのが一番いいかなというのがまず1点。

それから、今回佐藤委員のほうから、委員会のほうを優先するような段取りを求めるという御意見もございましたので、それもそうなんです、一応全体でこういう協定が結ばれるということは全議員の皆さんにお伝えしていただきたいということ。

そのことについてと、あと最後の道路事情のことですが、市のほうがどんなふうにお考えなのか。大変狭隘で大変人が集中するポイントになってると思います。一方通行ですとか、何か別の方法とか必要になるだろうと。その場合、協定にも触れるのかなと思いますので、その辺のことを改めてお尋ねして、その後市長のほうからの御答弁をお願いしたいと思います。

○副委員長（大口浩志君） 御答弁いただけますか。

○市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 前田市長。

○市長（前田正之君） いろいろ御意見をいただきまして、ありがとうございます。

やはり、市民の方に多く関係する案件、そういった協定につきましては、やはり議会のほうにしっかりと説明をさせていただく。そして、その手順につきましても議会のルールにちゃんとのっとりまして執行部のほうはお話を進めさせていただきたいと思います。

そういう中で、協定につきましても多くの協定を結ばせていただいておりますので、案件、こういったものが、全てのものをというわけにもいかないと思いますが、本当に市民の方々に関係が大きい話題につきましては、結局は議会の皆様方と情報を共有していくというのが一番

大切なことだと思いますので、その気持ちをしっかり持ちながら議会と一緒にやらせていただきたいと思いますので、お願いいたします。

なお、今回のイズミとの包括連携につきまして、いろいろ道路関係の御心配もあろうかと思っています。私もまだ細かいところまでを全て報告を受けてないところもあるんですが、皆様方のほうに御心配をいただいていることを、そういった心配をいただかないような方向で協定を結んでいけるように調整をしながら、また御報告をさせていただきたいと思いますのでお願いをいたします。

以上です。

○副委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

○副委員長（大口浩志君） それでは、お返しします。

〔委員長交代〕

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 今の委員長の発言の中で、常任委員会の越権じゃないですけど、私として越権行為は控えるべきだというふうな委員長の認識かなと思ったんですが、これはほかの委員も当然常任委員会の、要するに範疇を超えた動きというのはすべきじゃないという認識を皆さんお持ちだと私は今までずっと思ってるんですが、そうじゃなかったですかね、違いますか。

○委員長（原田素代君） 越権というのは、逆にどっちがどっちの越権ですか、ちょっと主語が分からなかった。要するに、委員会に対する越権行為を私が言ってるってことですか、その逆ですか。

○委員（佐藤 武君） 要するに、私がそういうふうに捉まえてるというふうな委員長の発言だったので、いやそうじゃなくて、委員会の範疇を超えた内容については委員会でやった後にすべきでしょうというのが皆さんの認識だし、私も今までそういうふうに思ってたんですが、皆さんの意見はどうですかという確認です。

○委員長（原田素代君） そういうお尋ねがございましたが、いかがですか。御意見をお願いします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ごめんなさい。分かりやすく言えば、やっぱり所管の常任委員会を優先してやって、委員以外の方はそこで傍聴して、その内容について認識するという事で私は今まで来ていたんですけども、そうじゃなかったですか。

○委員長（原田素代君） 御意見あればどうぞ、皆さん。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） その件については先ほど佐藤委員のほうから言われたように、それは原則であって当たり前のことだと私は思いますし、今までどおりで何ら変わりはないんじゃないんですか。何が変わったようなことがあるんでしょうか。今の発言で、原田委員長が言われたことのどこがおかしかったのか、私には理解できないんですが。言われたとおりだと私も思っております。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） いや、だから、原田委員長が、私が言った発言で、私はそういうふうに認識してるというふうに念押しされたんで、ほかの委員もそういう認識じゃないですかということを言ったわけです。だから、私だけが思ってるんじゃないで、ほかの委員も認識してるんじゃないですかと。原田委員長もそういう認識じゃなかったんですかということの問いかけです。

○委員長（原田素代君） すみません、話を混乱させて申し訳なかったと思います。

今議長がおっしゃっていただいたように、佐藤委員のおっしゃるように、委員会優先で事態は当然進みます。ただ、その際に、共有が必要な案件というのが当然ありますよね、まちづくり調査特別委員会がまさにそうでした。産業建設常任委員会がずっと所管でやってきましたが、やはりこれは議会全体で議論すべきだということで委員会ができた経緯もございますし、過去にほかのことでもありました。だから、要するにケース・バイ・ケースで、事情によってそういう判断が求められると思っています。

今回の件は協定という中身だったので、全体にも説明をお願いしたいということで申し上げたので、佐藤委員がおっしゃるように委員会はなくともいいよみたいな発想は全くございませんし、委員会が所管で十分議論を尽くしていただいて、全体で共有すべきことは共有すればいいと、そういうふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 多分そんなに違ったことを言われてるんじゃないと思うんですけど、今までこういった件については、例えば総務常任委員会で説明いただく、あるいは今回の内容は産業建設常任委員会のほうに内容によっては絡むか分かりませんが、総務常任委員会なりあるいは産業建設常任委員会のほうで御説明いただいて、佐藤委員おっしゃられるように、ほかの議員は傍聴していただくということで、今までどおりでよろしいんじゃないでしょうか。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

ほかの委員はよろしいですか。

光成委員。

○委員（光成良充君） 僕も所管の委員会でやってきて、厚生文教常任委員会の中でやってきたことで、これについては全議員に知らせておいたほうがいいなっていう案件があった場合は議長に連絡をさせていただいて、議長のほうから全議員にお知らせをしていただきたいというようなお願いをしてた経緯がありますので、多分佐藤委員が言われたのは、常任委員会の委員長が議長に言うんじゃないなくて、今議会運営委員会の委員長がそれを言われたから、ちょっとそれは話が違うんじゃないんですかっていうことを言われたんだらうなと僕は認識したんです。

だから、今までどおりのやり方で僕はやらせていただければいいと思うんで、何ら問題はないと思っております。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

この件についてはよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、一応執行部に幾つかの投げかけをしましたので、またそのことについての対応をよろしくお願いいたします。

なければ続いて、協議事項の2番目に行きます。

令和7年6月議会定例会の会期日程（案）についての説明を事務局よりお願いいたします。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 令和7年5月から6月の議会スケジュール表（案）を御覧ください。

この件につきましては、先週の議員懇談会で御説明のとおりでございまして、特に変更点はございませんので説明は省略させていただきます。

以上です。

○委員長（原田素代君） 説明が終わりました。

ただいまの説明についての御質問ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） ないようですので、それでは続いて協議事項3番目に移ります。

その他で、予算常任委員会の中継の件です。

これについては議会事務局からの説明をお願いいたします。

○議会事務局長（原田光治君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 原田局長。

○議会事務局長（原田光治君） 予算常任委員会の中継について御説明いたします。

赤磐市議会会議中継に関する要領によりまして、本会議及び定例会の会期中に開催する総務常任委員会、厚生文教常任委員会及び産業建設常任会は中継を行っておりますが、予算常任委

員会も常任委員会ですので他の3常任委員会同様、中継をする方向で準備を進めるということで、前の期からの継続案件となっております。

この議会運営委員会では、開始時期、配信方法、開催場所を協議していただきたいと考えております。

開始時期につきましては、この6月から始めるかどうか。配信方法につきましては生中継か録画中継か。なお、どちらも委託料は同額でございます。

また、開催場所については議場か協議会室か。なお、現在は協議会室で行っておりますが、議場で行った場合でも執行部の席数は足りることを確認しております。

タブレットの中に資料が入っておりまして、予算常任委員会の中継（録画）についてというものでございます。

その中で、費用というところがありますけども、中継（録画）に係る費用は1時間当たり3,960円、税込みでございます。協議会室に中継設備を設置する場合は660万円が必要ということで見積りを取っております。議場であれば現在の中継システムを使用でき、追加費用はかかりません。

令和7年度当初予算で中継に係る委託料は議会、委員会合計で130時間分を見込んでおり、令和6年度実績に照らし合わせますと、予算常任委員会を入れても予算内で収まる見込みでございます。

なお、中継をする場合は要領の改正が必要になります。

赤磐市議会会議中継に関する要領という資料も併せてタブレットに格納しております。

お聞きいただきますと、見え消ししておりますが、総務、厚生文教、産業建設の3委員会に限定した書きぶりを、単に常任委員会という表記に改めるという内容になっております。

説明は以上です。

○委員長（原田素代君） 説明が終わりました。

御質疑、御意見をお願いしたいと思います。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 費用のこともあるんで、今予算計上をして、本会議場で今年度はできるというんであれば一遍そこでやってみて、そこで不都合なものが出てくれば協議会室というようなことで考えるという形にされたらいかがかなと。本来なら市民には全ての委員会等も見えていただくというのが大前提でしょうから、それに向けて準備をして、一足飛びには難しいでしょうから、目標としては全て公開できるような腹積もりで議員が対応していくということで、今回は本会議場でやるということでいいのではないかな。

それで、会場の中を、本会議場でやるとなれば正副委員長の席等をどういうふうにするのかというのがちょっと問題かなと思いますので、そこら辺も、もしするとなれば協議されたらと思います。

以上です。

○委員長（原田素代君）　ありがとうございました。

ほかの皆さん、いかがですか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君）　可能であれば中継すべきだと思うんですけど、今金谷委員おっしゃられた、仮に議長席だと1つしかありませんから副委員長はどうするのかと、これがあると思いますけど、その辺は検討いただくのと、この25人というのは入れ替えてということですね。委員会ごとに入れ替えれば執行部のほうも着席可能だということなんですよ。

○委員長（原田素代君）　これ、入替えて25人ですか。

○議会事務局長（原田光治君）　入替えです。

○委員長（原田素代君）　じゃあ、従前どおりの。

○委員（安藤利博君）　だから、場所が替わるだけで物理的なあれは可能ですよと。

1つあるのが、今の委員長、副委員長の席がどうなのかなということですよ。だから、その辺が解決できるのであれば私はやるべきだと思います。予算的にもこれで収まるのであれば。

以上です。

○委員長（原田素代君）　時期はよろしいですか。

○委員（安藤利博君）　常任委員会なので、別に予算常任委員会だけができないということのほうがおかしいと思うんで、可能であれば6月からやっていただければと思います。

○委員長（原田素代君）　ありがとうございます。

事務局から補足の説明があるそうです。

○議会事務局長（原田光治君）　委員長。

○委員長（原田素代君）　原田局長。

○議会事務局長（原田光治君）　他市の事例としましては、岡山市議会は議場でやっておりますが、正副委員長席は別に机を出してやる形です。赤磐市議会のほうでそういう形を取ると、マイクの問題、そういった辺がどうしたらいいかというのがすぐにできないような可能性がございます。あと、瀬戸内市とか真庭市では議場を使って、議長席に委員長が座って、副委員長が横に座るんですけども、マイクの関係がありますんで、事務局長席であればマイクもありますんで、副委員長にお座りいただいて、その反対にもう一席ありますんで事務局長席とするというようなことも想定はできるかなと考えております。

以上です。

○委員長（原田素代君）　ありがとうございました。

補足が入りましたが、それを踏まえていかがですか。他の委員の皆さん、御意見を願います。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 説明者の席、執行部席になるんですが、これは十分足りると。当然入替えは必要なんですけれども、今の数で入れるんですか。

○委員長（原田素代君） 事務局のほう、お願いします。

○議会事務局長（原田光治君） 席は足りるということで確認しております。

○委員長（原田素代君） ほかにいかがですか。

光成委員、どうですか、御意見は。よろしいですか。ぜひ発言を。

○委員（光成良充君） すみません、過去のインターネット中継のやつを見てたんですけど、予算常任委員会は録画中継もしてないんですよ。

○委員長（原田素代君） うん、してない。

○委員（光成良充君） 今回これを16時間プラスしても130時間内で収まるから費用はかからないということで、もうこれはすぐにでもできるのであれば、もうそれで令和7年6月議会からしていただければいいかなと私は思っております。

○委員長（原田素代君） 皆さんよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） そうしましたら、せっかくの機会、皆さんの御意見が固まりましたので、一応ここで6月議会から本会議場での予算常任委員会の開催を進めてみようということの総意ができたということで、全員協議会のほうでまた御報告をさせていただこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

それでしたら、その他のその他ですけれども、まず執行部のほうからございますか。

○総務部長（戸川邦彦君） 執行部、ありません。

○委員長（原田素代君） 分かりました。

議長のほうから。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） 先ほどからいろいろな議論が出ておるわけなんでございますけど、私の考え方は、各常任委員会は委員長の裁量において、責任においてやっていくというのが地方自治法にもうたっておるように、そういう形で今後も進めていただきたい。今までもそういう形で進めておられるとは思いますが、各常任委員会は委員長の裁量で行っていただきたい。

その中で、先ほどからお話が出ておりましたように、委員会の中で何を議論しておるのかということについての御報告を、私は議会全員協議会において御報告をできればいただきたい。議論はできませんけど、委員会の進捗状況について議会全員協議会の中で御報告をいただ

きたい。その御報告の中の議論はできないということで御報告だけのよう形になるわけですが、今回の議会構成の中で新人の議員が5名おられるというようなことの中で、議会の中で何をしておるのかということ把握していただくためにもそういう形を取っていただくのがいいのではないかなというふうに私は考えております。そういうことの中で、できればこの議会運営委員会の後に議会全員協議会を毎月開催させていただきたいというふうな御提案をさせていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員長（原田素代君）　ありがとうございます。

議会運営委員会の後の毎月定例で全員協議会を開催することの提案がございました。

密になっていいことではないかなと私はと思いますが、ここで皆さんの御意見を賜りたいと思います。いかがでしょうか。

○委員（佐藤　武君）　委員長。

○委員長（原田素代君）　佐藤委員。

○委員（佐藤　武君）　常任委員会で議論された内容を報告していただくのは大変ありがたいんですけども、報告を聞くだけで、それについて質問も不可能ということになれば、中途半端な報告になりはしないかなと思うんですが、その部分はいかがですか。

○委員長（原田素代君）　佐藤議長。

○議長（佐藤武文君）　報告をして、質問されるのは結構なんです。私がただいま申し上げましたのは、議論は控えてくださいと。その中で議論をされるということに対しては、委員会に対して大変失礼なことでありますので、議論は控えてください。説明を聞いて、分からないことについては質問して聞かれることについては、それは妥当なことではないかというふうに思います。

○委員長（原田素代君）　佐藤委員。

○委員（佐藤　武君）　私は質問イコール議論だと思ってるんですが、質問と議論の分け方がちょっと理解できないんですけども、どういうことですか。

○議長（佐藤武文君）　分からないことを聞くのが質問でしょう。議論と質問とは私は違うと思います。

○委員（佐藤　武君）　質問をして、どういう報告があった、どういう取組をするのかということ聞くことが私は議論だと思ってるんですが、ちょっと分かりませんね。

○委員長（原田素代君）　佐藤議長。

○議長（佐藤武文君）　あくまでも委員会で議論したことを蒸し返すような議論は、私は委員会に対して大変失礼なことであるというふうに思っておりますので、そのことについては控えるべきであるというふうに思います。分からないことは聞いていただければ結構ではないかというふうに思います。

○委員長（原田素代君）　ちょっと見解が、それぞれの思いが違いますからですけど。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 当然、委員会ですということがあったかというのを皆さんにお知らせするのはいいことだと思いますし、議会運営委員会のメンバーは、全員協議会があっても何らかの時間に制約があるわけじゃないんでいいんですけど、びっくりして、ええっという人もおられるかと思いますが、自分らの勉強のためにということで、常に全員協議会があればそこで意見の交換ができるということで、この委員会の報告だけじゃなくて、ほかのことも含めた中で全員協議会をこの後にするという大前提をお願いをしたいのと、もう一つ、今度は委員長報告を定例議会ですしてるわけですけど、あの程度と言ったら失礼なんですけど、本会議の中での報告がああいう形の報告をしてる、じゃあ全員協議会の中で報告するのはどの程度になるのかという辺がまだ私も頭の中では整理できないんですけど、本会議を中継して、なおかつ市民にいろいろ今まで見てもらってる内容よりも、もっとディープなものを話すというわけにはいかないかもしれないなという気もしてるんで、そこら辺は、やるとなればちょっと調整をお願いをしたいなと。知らせるのはいいことだし、全員協議会でいろんなことをそのたびに協議できるということはいいいことだと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） ありがとうございます。

最初から大変いいものをつくろうというふうに思っていたかなくてもいいんじゃないかな、徐々にいいものに完成させていけばいいんじゃないかなと私は思っております。

それと、先ほど金谷委員のほうから言われましたように、ただ単に常任委員会の報告をするというだけではなしと、執行部のほうからもいろいろな提案あるいは報告事項等々が私はあると思うんです。そのことも議会全員協議会の中で利用させていただいて、前田市長が言われておるように、議会と執行部が両輪というようなこと、そして前田市長が唱えておられますようなワンチームというようなことの中で、そういう形ができるだけそういうふうなことがまとまるように、議会全員協議会というものを活用していただければいいんじゃないかなというふうに私は考えております。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 考えてみたら、委員会の日程調整が結構、これで限られた時間になってくると思うんですね。大体月末にこういう議会運営委員会をやるとなれば、今までそれこそぎりぎりです委員会を出たやつをまとめて議事録も精査してからじゃないと報告っていうのは曖昧なことではできないので、そうすると一月遅れるというような形になろうかと思うんですが、日程調整がかなり難しいのかな。そこら辺を含めて、少し寛容にお願いしてやれるというのであれば、ぜひすぐにでもやったらいいのかなというふうに思います。

○委員長（原田素代君） よろしいですか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 私もまだ経験浅いですけど、赤磐市議会がよそよりも進んでるところあるし、よその議会の中継とか議事録もそんなたくさんじゃないですけど見ていて感じるものが1つあるのが、委員会も全員協議会もそうですけど、大体定型的なパターンで毎回進んでいってるといふような印象を持ってるんです。1つ、もう少しどうかなと思うのが、今出してるんですけど、議会基本条例の第3条のところで、議会は言論の府であること及び合議制機関であることを十分認識し、議員間の自由な討議を重んじるということが大原則に掲げられてるんですけど、これがやや十分じゃないと言ったら語弊ありますけど、もっとそういった定型的な執行部からの報告なり議員からの質疑だけじゃなしに、やっぱり議会としてももう少し議論すべきテーマはあるんじゃないかなという印象を持ってるんです。

ということで、佐藤議長おっしゃられるような、そういった形で、全員でそういった議論をする場がもう少しあってもいいんじゃないかなという気はしているんです。だから、基本的にはどういった範囲でどうするっちゅうのは、今までの経緯もあるかと思いますが、やっぱりいろんな議員の皆さんの意見を出し合うという場はもうちょっとあってもいいんじゃないかなと思ってるんで、佐藤議長の思いといいますか、それには賛同したいと思います。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

ほかにいかがですか、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、議長提案の、議会運営委員会の後の全員協議会をこれから開催していく予定です。それで、内容については、場合によっては議長と委員長で御相談されてからとか、委員会の中で総意で委員長が報告するとか、いろいろなケースが考えられると思うのですが、それは試行錯誤しながら進めていけばというふうに思います。

一応そこを確認させていただきました。

委員のほうからほかに何か御意見や御質疑ございませんか。

安藤委員。

○委員（安藤利博君） 1つ、今たまたま議会基本条例の件が気になってたもんですから言わせていただいたんですけど、基本条例の中の最後に、第26条の3、議会はこの条例の理念を共有するため一般選挙を経た任期開始後速やかにこの条例の研修を行うものとするところなんですけど、これを行う対象が新人議員だけとはこの表現から読めないんで、4年ごとに改めて皆さんで基本条例の趣旨を考え直しましょうと、考え直すというのは失礼な言い方ですけど再認識しましょうというふうなことの趣旨でこれ決められてるんじゃないかなと思うんです。これは、私はこのとおりやったほうがいいと思うんです。そのやり方、よその議会なんかも同じよ

うな条文はあると思うんですけどどうされてるかはそこまで確認してないんですけど、例えば外部の講師を呼んでくるとか、いろんな方法あると思うんですけど、やっぱり基本条例でうたってる限りにおいては、再確認の意味を含めてやるべきではないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） 大変貴重な意見をありがとうございました。

実は、議会基本条例のことについて置き去りになっておるのではないかということについて、議会運営委員会の委員長とも話し合いをさせていただいております。

議会基本条例のことについて我々議員が議員に説明をしても、なかなか解決に至る面が少ないのではないかな。要するに、専門の方に来ていただいて、そのことについてひもといていただくほうが分かりやすいというようなことの中で、研修会を含めた、そういうふうな議会基本条例の見直しについてやりましょうということで話し合いをさせていただいております。時期についてはいつか分かりませんが、できるだけ早い時期に、この議会基本条例の内容については専門家を交えての話し合いをさせていただけたらというふうに計画をしたいというふうに思っております。

○委員長（原田素代君） いかがですか、皆さんのほう。それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） その他、委員の方からございませんか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 議長にもこの間申し上げたんですけど、前期のときにまちづくり調査特別委員会ができております。せっかくですので、大きな赤磐市としての問題ですので、早急にその特別委員会が立ち上げられるような手だてを議長のほうで考えていただいております。いなというふうに思います。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） ありがとうございます。

大変大切な赤磐市の大きな問題であるということについてはどなたの議員も認識をされておられることだろうというふうに思います。しかしながら、今まで過去のいろんな事情等々もございまして、この6月議会までにその結論に至るように努力をさせていただきたいというふうに思います。6月議会で立ち上げる方向で進めさせていただきたいとは思っておりますけど、執行部とも調整をした中で、どういう形がいいかということについては6月議会までに結論を出させていただきたいというふうに思います。

○委員長（原田素代君） よろしいでしょうか。

○委員（金谷文則君） ありがとうございます。

全員協議会で皆さんに諮っていただいて、もっと早くしろという意見がひょっとして出れば議長も対応していただきたいというふうに思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

○委員長（原田素代君） その他ございませんか。

すみません、度々、私のほうから1つ。

市の総合計画についての議論がされておられません。先ほど安藤委員が指摘されたように、基本条例の中でも総合計画については議会も執行部と同等の責任を負わねばならないというふうに出られております。そのためには執行部が提案されてきた今回の総合計画について議員全員がそれについての理解と共有をしておく必要が当然あるわけですが、その件のスケジュールのことを一応ここで発言をさせていただきますので、議長のほうでその段取りを御検討いただきたいという要望ですが、いかがですか。

○議長（佐藤武文君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 佐藤議長。

○議長（佐藤武文君） 言われましたように、総合計画というのは非常に大切な事業であるにもかかわらず、担当常任委員会は総務常任委員会だろうというふうに思います。総務常任委員会の中で全体のまとめをして、こういうふうな形になっておるといような報告を恐らく受けておると思うんです。しかしながら、そのほかの担当常任委員会は資料を渡されて、見といてくださいというような形の中で、なかなかその内容についての意見を申し上げることができていない。私も産業建設常任委員会に所属をいたしておりますけど、内容について意見を申し上げたことは一切ございません。そういうことの中で、総合計画というものが大変軽薄になっておるのではないかなと。もう少し重要視した総合計画というものをまとめ上げたほうがいいんじゃないかというふうに私自身も実は思っております。

そういうことを含めて議論を深めるべきであるというふうに思いますので、今後の審査についてはよろしくお願いしたいというふうに思います。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、以上をもちまして議会運営委員会を閉会したいと思います。

午前11時28分 閉会